

# ほすびたる

No.764

令和5年1月20日  
福岡県病院協会

C O N T E N T S

- |        |                                       |  |   |
|--------|---------------------------------------|--|---|
| 新年の挨拶  | 年頭のごあいさつ                              | 福岡県知事 服部誠太郎                                    | ① |
|        | 新年を迎えて                                | 公益社団法人福岡県医師会<br>会長 蓮澤 浩明                       | ② |
|        | 年頭のご挨拶                                | 公益社団法人福岡県病院協会<br>会長 中村 雅史                      | ③ |
| 会員広報   | 第12回福岡県病院協会 参与・各種<br>委員会正副委員長・役員懇談会報告 | 公益社団法人福岡県病院協会<br>専務理事 平 祐二                     | ④ |
| 新人物    | 有明医療圏の急性期医療の<br>一翼を担う大牟田市立病院          | 地方独立行政法人大牟田市立病院<br>理事長・病院長 鳥村 拓司               | ⑫ |
|        | 院長就任のあいさつ                             | 医療法人翠甲会甲斐病院<br>院長 島田 洋                         | ⑬ |
| Letter | ウサギ、卵そして医学と兎                          | 国立病院機構九州医療センター 名誉院長<br>学校法人原学園看護専門学校 名誉校長 朔 元則 | ⑭ |
| Essay  | 人体旅行記 乳房（その十三）                        | 国立病院機構都城医療センター<br>院長 吉住 秀之                     | ⑯ |
|        | ■福岡県私設病院協会 令和4年11月～12月の動き             |  | ⑰ |
|        | ■福岡県病院協会だより                           |  | ⑱ |
|        | ■編集後記                                 | 岡嶋泰一郎  | ⑳ |

# Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。  
ネットワークを利用した読影サービスで、  
あなたをバックアップします。



## Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～  
医療に地域格差があってはならない  
そう私たちは考えます。

## ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～  
放射線科の先生方向けに、遠隔  
読影システムから課金に至るまで  
統合的にサービスをご提供します。

## 株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1  
九電工福岡支店ビル6階  
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867  
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

病院寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテン・ベッドマットのリース・洗濯  
入院セット・患者私物衣類の洗濯・紙おむつ・介護用品等の販売

福岡県私設病院協会グループ

## 福岡医療関連協業組合

理事長 江頭啓介

専務理事 佐田 正之  
理事 原 寛  
理事 陣内 重三  
理事 牟田 和男

理事 津留 英智  
監事 松村 順  
監事 中尾 一久  
事務局長 日比生英一



JQA-QMA  
15863



〒811-2502 糟屋郡久山町大字山田1217-17  
TEL(092)976-0500 FAX(092)976-2247

Clean & Comfortable

清潔さと快適さを追求します



# 年頭のごあいさつ



福岡県知事  
服部 誠太郎

新年あけましておめでとうございます。

公益社団法人福岡県病院協会の皆さまには、日ごろから県民の健康の増進と地域医療の確保にご尽力いただいております。また、新型コロナ対策につきましては、引き続き、病床や診療・検査体制の確保などにご協力いただき心から感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナオミクロン株の爆発的感染拡大、ロシアのウクライナ軍事侵略、急激な円安といった予測困難な事象が私たちの生活や経済活動に大きな影響を与えた年でした。

また、ワンヘルスの取り組みが大きく前進した記念すべき年となりました。11月のアジア獣医師会連合（FAVA）大会には国内外から多くの方が参加され、同時に開催した国際フォーラムと合わせて、本県のワンヘルスに関する先進的な取り組みを国内外に広く発信することができました。

今、私たちを取り巻く状況は、新型コロナのパンデミックや世界的な物価高騰に加え、急速なデジタル化、カーボンニュートラルなど、目まぐるしく変化しています。こうした変化に対応するため、今年は、世界を視野に、未来を見据えて、成長、発展の歩みを力強く進めていく必要があります。また、感染防止対策と社会経済活動の両立を図る、ウィズコロナの歩みを着実に進めていかなければなりません。

県では、団塊の世代の方々が全て75歳以上となる2025年に向け、あるべき医療提供体制の姿を明らかにするとともに、その実現に必要なと

なる施策を示した「地域医療構想」に基づき、医療機能の分化・連携などを進めています。

貴会には、医療審議会や各区域に設置した地域医療構想調整会議などを通じて貴重なご意見をいただいておりますことをこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

令和6年度を初年度とする「第8次医療計画」の策定に向けた取り組みが、令和5年度から本格化します。医療計画は、本県の保健医療を総合的・効果的に推進するための基本的な計画です。誰もが安心して必要な医療を受けることができるよう、計画の策定に全力で取り組んでまいります。貴会におかれましては、中村会長のもと、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

また、生涯にわたり長く元気に暮らしていくためには、「健康寿命」を延ばしていくことが重要です。医療、介護の充実と併せ、県民一人一人が改めて自分の健康について考え、自らの健康の維持、増進に取り組んでいく「ふくおか健康づくり県民運動」を具体的かつ着実に進めていきます。

今年の干支「卯年」は、芽を出した植物が成長していき茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年だといわれています。ウサギが跳ねるように、本県をさらに飛躍する年にしたいと考えています。

新年が貴会ならびに会員の皆さまにとって、素晴らしい一年となりますよう心からお祈りいたします。

# 新年を迎えて



公益社団法人福岡県医師会  
会長 蓮澤 浩明

明けましておめでとうございます。本年も宜しく願い申し上げます。

昨年1月、松田峻一良先生の後を受け会長に就任し、瞬く間に1年が過ぎました。その間6月に役員改選を行い、新体制で会員の皆様のご支援・ご協力を頂きながら福岡県医師会の事業遂行に当って参りました。

新型コロナウイルス感染症への対応も約3年が経とうとしていますが、未だ収束が見通せない中、会員はじめ医療従事者の皆様におかれましては、懸命にこの感染症と向き合い、多くの困難に直面しながらも地域医療を支えて頂いておりますことに心より感謝致します。

昨年8月の第7波では、1日の陽性者数が最大15,000人超となりましたが、各医療機関はそれぞれの立場で全力をあげてコロナ対応にご尽力下さいました。県内すべての病院においてコロナ対応病床確保を依頼したり、感染者受け入れ医療機関と後方支援病院の連携を積極的に図り、何とか医療提供体制を保つことが出来ました。その後、一時の小康状態を経て12月に第8波の到来となりました。この冬はインフルエンザとの同時流行が危惧されています。

私たちは、今後も発熱外来の強化及び診療・検査医療機関の拡充や、それに伴うシステム構築、ワクチン接種など、これまで築いてきた医療提供体制で、県行政と協議・連携しながら対応していかなければなりません。そして、今回の経

験を下に、将来いつ発生するか分からない新興感染症等に対して、一般医療への影響を最小限に止め、限られた医療資源を有効活用するため、平時及び感染拡大時の取組みについて準備しておく必要があります。

新型コロナウイルス感染症の他にも、医療界には今、多くの課題が山積しています。本年4月からのオンライン資格確認導入の原則義務化、2024年度からの働き方改革に伴う医師の時間外労働規制適用、かかりつけ医問題、次期医療計画に向けた取組み、2024年度診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬のトリプル改定などへの対応です。また、ロシアのウクライナ侵攻に端を発した物価の急激な高騰は、社会全体に深刻な影響をもたらしています。

そのような厳しい状況下ではありますが、今年も、福岡県医師会は執行部一同、会員の皆様と心をつにし、各医師会をはじめ関係各所と密接に連携しながら、切れ目のない医療・介護提供体制の構築に取り組んでまいり所存でございます。

先生方には、更なるご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束し、皆様にとって笑顔溢れる素晴らしい年になることを心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 年頭のご挨拶



公益社団法人福岡県病院協会  
会長 中村 雅史

新しい年の幕開けに当り、謹んでご挨拶申し上げます。

2023年までの直近3年間は、ほぼいずれの医療機関も新型コロナ対策に大部分の労力を割いてこられたのではと思います。最初の発生は2019年末でしたが、新規の感染症が中国で報告されたというニュースをオーロラ観察のために訪れていたカナダのユーコン川流域で目にし、遠くの世界での出来事のように感じたことを覚えています。その後、あっという間に世界中に蔓延してしまい、今のように世界が変わってしまうとは想像もしていませんでした。それから約3年後の昨年4月に九州大学病院長を拝命することとなり、当初はコロナ後の業績回復を目標としていましたが、最大の感染者を出した第7波に襲われて、とても“ポストコロナ”には程遠い現状であることを認識せざるを得ませんでした。

2022年は引き続きコロナ禍に加えて、病院運営上の様々な困難が次々と襲ってきた厄年でした。誰も予想していなかった突発的な事項としてはウクライナ戦争や円安に伴うエネルギーの高騰、医療材料価格の上昇があり、これらは2023年も悩まされることになりそうです。

継続的な課題ではあるのですが、施行までに2年を切った医師の働き方改革がよいよ切迫した問題となってきたのも2022年でした。こ

の問題はいわゆる“ネーベン先”も含めた勤退時間管理が必要であることや、救急医療体制維持との兼ね合い等、地域の医療圏全体で解決すべき課題です。幸い本協会の先生方が大変ご尽力されており、福岡県においては何とか軟着陸できるのではと確信しています。

このように3重苦、4重苦の寅年であった2022年がやっと明け、<sup>みずのとう</sup>癸卯の2023年となりました。卯年はうさぎの穏やかな様子から安全や温かな社会情勢をもたらすと考えられてきました。また飛び跳ねる様から何かを開始するのに縁起がよく、希望があふれ、景気回復、好転するよい年になると言われています。ちなみに、株式市場にとっては縁起の良い年として知られているようです。<sup>みずのとう</sup>癸は恵みの水を表しており、新たな成長の時期であることも意味します。

明王朝の軍人・政治家であった趙弼は、その手記「評史」の中で、後漢王朝の時代に専権を振るっていた皇后の一族を宦官が追い払った事件について、「ことわざでいう『前門に虎を拒ふせぎ、後門に狼を進める（表門では虎の侵入を防ぎながら、裏門から狼を引き入れてしまう）』というものだ」と述べています。2023年は寅が去って<sup>みずのとう</sup>癸卯の年となりますが、癸卯の音読みは【きぼう】です。医療分野からも寅が去って、狼の代わりに穏やかで“希望”に溢れた兎が裏門から訪れ「好転」、「飛躍」、「向上」をもたらすことを祈念します。



# 第12回 福岡県病院協会 参与・各種委員会 正副委員長・役員懇談会報告

◎公益社団法人 福岡県病院協会 専務理事 平 祐二

日時 令和4年12月6日(火) 17時～18時10分  
場所 オリエンタルホテル福岡 博多ステーション3階  
オリエンタルボールルーム恵比寿  
福岡市博多区博多駅中央街4-23  
出席者 病院協会参与6名(うち役員再掲1名)、  
各種委員会正副委員長14名、役員22名  
(うち委員長再掲1名) 計40名

中村会長が挨拶の後、座長となって議事を進めました。

## 1 参与の紹介(平専務理事)

当日出席された参与(大和日美子参与、藤井靖士氏〔上原洋介参与代理〕、井上正義参与、中西裕二参与、下崎千加氏〔井上真由美参与代理〕)の方々を順次御紹介し、参与からは簡単に挨拶いただきました。

## 2 各委員会からの報告

### ア 病院研修会

病院委員会 委員長 上野 道雄  
国立病院機構福岡東医療センター 名誉院長

病院委員会は福岡県病院協会の伝統ある委員会と異なり、誕生間もない委員会です。公益法人化申請の際、本協会の研修会は医療専門職の分野が幅広く含み、その活動歴の長さや内容が高く評価された。病院協会には、ほぼ全ての公的病院長と多くの私設病院長が正会員として参加する。福岡県病院協会の病院長が一堂に会して種々の問題を共有して議論することは公益法人として望ましいとの話を県から頂いた。福岡県病院協会の歴史には病院幹部を対象とした研修会は存在していたが、医師の出席が少なく、事務系の委員会に衣替えした。県から背中を押されて、公益法人化の機会に病院委員会を立ち上げた。

各研修会の正福委員長の多くは各協会や団体に所属し、各協会や団体から演者の選定や依頼から出席

者の案内と募集に至る全面支援を受けて各種研修会が成功裏に開催されている。福岡県病院協会の存続理念と財務の両面で各専門部会との連携に依存しているところが少なくない。公益法人化とコロナパンデミックの時点で痛感された。本当に、有難うございました。病院委員会を支える団体はなく、病院協会直属の委員会として発足した。研修会のテーマには、病院自体が関与する地域医療、医療事故、感染症、災害を選び、直近の研修会では感染症と事業継続計画【BCP Business Continuity Plan】を開催した。事後、コロナでの休会となった。

余りにタイムリーなテーマであった。コロナ感染症の拡大に際し、2019年の講演のパンデミック感染症における病院の協力体制、エボラ出血熱関連機関対策協議会(行政、感染症医療機関、大学、関連機関)を基に、感染症指定病院長会議の開催等を県に陳情して、早期に(2020年3月1日)開催した。その後も、福岡県の独自性溢れる医療提供体制に多大な影響を与えた。また、病院委員会のテーマの骨子の多くを4県(岡山、広島、山口、福岡)病院協議会で発表し、本協会の活動に一定の評価を得た。

ところが、コロナ感染症の流行は病院協会の根幹である研修会の開催を直撃し、財務体制を悪化させた。ホスピタルの発刊は隔月になり、理事会の開催も減った。今後は従来の組織体制への復帰への道筋を、病院協会の役員が検討されると思われる。大変、唐突な話で申し訳ないが、病院委員会は病院協会の理念に合致するところが多いが、病院協会の少ない要員での継続が妥当か否かの真摯な検討をお願いしたい。また、ご列席の参与や正副委員長の皆様のご意見を頂きたい。

### イ 看護研修会

看護委員会 委員長 大松 真弓  
産業医科大学病院 副院長・看護部長

少子・超高齢社会に伴い、医療提供体制は大きく変化し、なかでも看護を取り巻く背景は「医療・介護のニーズの増大」「医療者の確保困難」の状況で、

2025年問題への対策として全世代型の地域包括ケアシステムを目指しています。そして、そのためには看護職間の連携づくりと、さまざまな場で働く看護職の能力強化を支援し、生涯にわたって切れ目のない看護提供体制を構築し、あらゆる場で看護を提供できる人材育成が必要です。そのような社会情勢の中、看護委員会では安全で質の高い看護を提供できるように看護実践能力や看護管理能力の向上を目的に研修を企画しています。

しかし、2020年からコロナ禍になり、一部は研修中止しましたが、その後は感染拡大状況に応じて感染予防対策を講じ、オンデマンドなどの研修方法も検討し、研修開催を継続して行ってきました。主な内容は、診療報酬に関する内容でニーズも高い「認知症看護実践力向上研修」や「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」、またコロナ禍で新人看護師も中堅看護師も看護管理者もメンタル不調を払拭しようと「ミレイ先生のアドラー流勇気づけコミュニケーション」を企画しました。研修に対する受講生の満足度は高く、今後も診療報酬に関する内容とアンケート結果から受講生のニーズに合った内容を企画する予定です。

#### 【令和2年度】

##### ○第160回看護研修会（令和2年7月7日）

※コロナ感染症拡大防止のため中止

「病院の防災トリアージ」

「ACPについて」

##### ○第161回看護研修会（令和2年9月1日・2日）

※コロナ感染症拡大防止のため中止

「認知症看護実践力向上研修Ⅲ」

講師 福岡大学病院神経内科医師 合馬慎二  
一般社団法人筑紫医師会訪問看護ステーション

認知症看護認定看護師 岩本知恵美  
久留米大学病院

老人看護専門看護師 西村知子  
田主丸中央病院

老人看護専門看護師 福嶺初美  
九州大学病院

認知症看護認定看護師 立石 圭  
福岡赤十字病院

認知症看護認定看護師 宮原あや

##### ○第162回看護研修会

（令和2年12月16日・17日・18日）

#### 「認知症看護実践力向上研修Ⅲ」

講師 福岡大学病院神経内科医師 合馬慎二  
一般社団法人筑紫医師会訪問看護ステーション

認知症看護認定看護師 岩本知恵美  
久留米大学病院

老人看護専門看護師 西村知子  
田主丸中央病院

老人看護専門看護師 福嶺初美  
九州大学病院

認知症看護認定看護師 立石 圭  
福岡赤十字病院

認知症看護認定看護師 宮原あや

#### 【令和3年度】

##### ○第163回看護研修会

（令和3年8月4日・5日・6日）

#### 「認知症看護実践力向上研修Ⅳ」

講師 福岡大学病院神経内科医師 合馬慎二  
一般社団法人筑紫医師会訪問看護ステーション

認知症看護認定看護師 岩本知恵美  
久留米大学病院

老人看護専門看護師 西村知子  
田主丸中央病院

老人看護専門看護師 福嶺初美  
九州大学病院

認知症看護認定看護師 立石 圭  
福岡赤十字病院

認知症看護認定看護師 宮原あや

##### ○第164回看護研修会（Web開催）

（令和3年12月8日）

「ミレイ先生のアドラー流勇気づけコミュニケーション、自分をすり減らさないで持続可能な看護師になる！」

講師 医学博士・産業医・心理学講師・心理カウンセラー・千葉大学大学院医学研究院非常勤講師・労働衛生コンサルタント  
ヒューマンハピネス(株) 代表 上谷実礼

#### 【令和4年度】

##### ○第165回看護研修会

（令和4年8月29日・30日・31日）

#### 「認知症看護実践力向上研修Ⅴ」

講師 福岡大学病院神経内科医師 合馬慎二

飯塚病院

認知症看護認定看護師 瓜生矩子  
久留米大学病院

老人看護専門看護師 首藤敏夫  
国家公務員共済組合連合会浜の町病院

認知症看護認定看護師 星野清子  
九州大学病院

認知症看護認定看護師 立石 圭  
医療法人相生会金隈病院

認知症看護認定看護師 宮原あや

#### ○第166回看護研修会（令和4年10月3日）

「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修2022」

講師 日本看護協会役職員、ファシリテータ  
福岡県病院協会看護委員会委員

共催 公益社団法人福岡県看護協会

#### ウ 診療情報管理研究研修会

診療情報管理研究委員会 委員長 西山 謙  
九州大学病院 病院長特任補佐

##### 【研修会】

- ▶ 令和2～4年度と増本理事・森田理事のものと研修会活動を行っている。委員も数人変更となり、更に研修会を盛り立てている。
- ▶ 病院間の情報共有を含めた診療情報管理業務の底上げを目的とし、研修会の充実を図っているところである。
- ▶ 令和2年度は対面研修であったが、新型コロナウイルス感染症の猛威もあり、令和3年度は対面研修からWEB研修となる。WEB研修の長時間開催の反響、昼食での感染対策の課題もあり、半日開催となった。令和4年度は対面研修を令和5年1月に予定している。

##### 【令和2年度の研修内容】

〔日時〕 令和2年11月10日(木)

13:00～17:00 WEB開催

- ▶ 新型コロナウイルス感染症が発生したあとの最初の研修会。参加者75名。
- ▶ テーマを「新型コロナウイルスの対応」とし、新型コロナウイルス感染症での対応、情報共有、そして、診療情報という観点から新型コロナウイルス感染症関係の指標について発表、シンポジウムを行った。

- ▶ 「コロナ禍での診療情報管理の業務をみんなで考える」では有事の時こそ、何を優先して診療情報管理の実務を行うことの共有を目的とした。

##### 【令和3年度の研修内容】

〔日時〕 令和3年11月18日(木)

13:00～17:00 WEB開催

- ▶ 新型コロナウイルス感染症の第5波が終息してのWEB初開催。参加者81名。
- ▶ テーマを「診療情報に関係する電子カルテ」とし、電子カルテのユーザー、ベンダー3社から「診療情報」をキーワードに発表、シンポジウムを行った。
- ▶ それぞれの電子カルテに特徴があり、自院の電子カルテを把握し、診療情報管理の実務に反映することを目的とした。

##### 【令和4年度の予定研修内容】

〔日時〕 令和5年1月26日(木)

13:00～17:00 対面開催

- ▶ 近年、医療機関において、病院機能評価等の監査への対応が求められている。診療情報管理の領域も重要な監査ポイントの一つであり、テーマを「第三者評価受審」としている。講演、シンポジウムにおいて対策に優れた成功例から学ぶことで、日々の業務改善に少しでも繋がることを期待したい。
- ▶ 森田理事から「医師・病院管理者からみた診療情報管理士への期待」という内容で講演をいただき、原点に立ち返り、ヒント、気づきとなることに期待する。

##### 【今 後】

- ▶ 医療DXの推進が始まっている。診療情報管理の領域においても、AI、RPAの活用を行う時代も遠くない。その中で診療情報管理の業務の在り方を各自が考える必要がある。
- ▶ 医療機関の実務者の課題は多くあり、本研修会が貢献できるようにチームワークで福岡県の診療情報管理における分野を盛り立てていきたいところである。

## エ 栄養管理研修会

栄養管理委員会 委員長 倉橋 操  
福岡大学病院 栄養部技師長

2020年の栄養管理研修会は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止としました。

2021, 2022年度栄養管理研修会の報告をいたします。

### 第69回栄養管理研修会 Web配信

(2021年9月4日、10月9日・30日の3回)

テーマ「高齢者が安心して生活できるように」

少子高齢化が進行する現在は、高齢者サルコペニアの予防と改善が重要になっております。特に、糖尿病などの基礎疾患を有する場合や歯科口腔機能の低下がある場合には、早期からの適正な栄養管理と身体活動を行うことが重要であることから、新しい情報を交えて3名の先生方にご講演をいただきました。

参加者数 237名

新型コロナウイルス感染状況を鑑み、約半年かけて準備を行いWeb形式での研修会を開催いたしました。このWeb研修会の収録や配信等は、九州中央病院に全面的にご協力いただき開催することができ感謝しております。

### 第70回栄養管理研修会 Web配信

(2022年10月15日)

テーマ「がんの栄養管理」

がんは1981年より死因の第1位であり、国民の生命および健康においての問題です。がん患者は、疾病そのものや治療による影響、血糖管理などいくつかの原因が相まって、栄養管理が困難な状態となることから多職種7名の先生方にご講演をいただきました。

参加者数 111名

研修に対する受講者のアンケート結果は、第69回、第70回とも全ての講演に対し“とても良い・良い”は約90%ととても高い評価でした。実施方法については、“Web開催・どちらでもよい”の意見が第69回93.9%、第70回97.1%と多い結果でした。第70回アンケート回答はWeb方式としたこ

とで回答率95%と高い上、記述意見が多くみられました。Web開催に関しては、慣れないために運営面での幾つかの課題がありました。今後、研修内容や開催方法等は、アンケート結果を踏まえて参加者にとって満足度の高い研修会となるよう計画していきたいと思えます。

## オ 臨床検査研修会

臨床検査委員会 委員長 森 健一  
社会医療法人財団白十字会白十字病院 臨床検査技師部長

新型コロナウイルス感染症に悩まされる研修会開催となっています。第4回を令和2年2月、第5回を令和3年2月に予定しておりましたが中止を余儀なくされました。第6回を令和4年3月12日(土)にようやく再開。当初は現地開催の予定でしたが、またも感染拡大のためWeb形式にて開催。第7回は、感染症流行時期である冬季開催を見直し、令和4年10月に現地とWebでのハイブリッド開催としました。今後の開催には、まだまだ新型コロナが影響すると思われますが、状況に応じた開催形式で多くの皆様に参加して頂けるようより良い内容で開催していきます。

### <令和3年度>

#### 第6回臨床検査研修会

令和4年3月12日(土) Web形式 参加：54名

2020年1月に国内初の新型コロナウイルス感染症患者が報告され、我々の職場や生活環境も大きく変化しました。感染症による検査室の変化、AI技術が発展している中で医療での活用、診療報酬改定のポイントを講演して頂きました。

テーマ「令和時代における臨床検査

～AIと感染症を中心に～

講演1：感染症パンデミックによる検査室革命

講師：飯塚病院 的野多加志 先生

講演2：AIの基礎と医療分野での活用事例

講師：ロシュ・ダイアグノスティックス(株)

八重樫康平 氏

講演3：2022年診療報酬改定の概要

講師：(株)FMCA 藤井昌弘 氏

### <令和4年度>

#### 第7回臨床検査研修会

令和4年10月1日(土) ハイブリッド形式(九州大学医学部百年講堂中ホール) 参加者：49名

臨床検査技師等に関する法律の一部が改正され、令和3年10月1日から施行されています。タスク・シフト/シェアとして10行為の業務が追加されました。これからの業務のヒントとなる内容で講演して頂きました。

テーマ「病院医療を変えるタスクシフト/シェア」

講演1：タスクシフト/シェアに関して

講師：一般社団法人日本臨床衛生検査技師会  
深澤恵治 技師

講演2：持続皮下グルコース測定における検査技師としての役割

講師：福岡赤十字病院 加藤康男 技師

講演3：病棟採血業務について

講師：公益財団法人健和会大手町病院  
安藤友美 技師

## カ リハビリテーション研修会

リハビリテーション委員会 委員長 梅津 祐一  
医療法人共和会小倉リハビリテーション病院 院長

令和2年初頭より新型コロナウイルス感染禍に入り、3月に企画していた令和元年度第2回リハビリテーション研修会よりしばらく研修会は開催できずにいました。令和2年度は委員会を一度開催し、新型コロナウイルス感染禍におけるリハビリテーションの工夫をメインテーマで開催計画を立てましたが、残念ながら開催できませんでした。令和3年度は年度末に診療報酬改定があり、何とか会場で研修会を開催すべく準備しましたが、感染拡大のためにweb開催に変更となりました。令和4年3月24日に「リハビリテーション領域における診療報酬改定の概要と対策」をテーマとし小生が講師となり、令和3年度第1回リハビリテーション研修会として開催いたしました。Web開催ではありましたが、報酬改定がテーマであったためか活発な質疑応答がありました。

令和4年度は7月5日に委員会を開催し、感染対策により会場開催の学会・研修会が増えてきたことから、十分な感染対策の下で会場での対面開催を目指し計画することとしました。地域包括ケアシステムが進行している中、地域リハビリテーションの位置づけは日に日に高まっていることから、その点を主題とした研修会を企画しました。11月5日に九州大学医学部百年講堂を会場とし、小倉リハビリテーション病院の名誉院長である浜村明德先生より「地域包括ケア時代における地域リハビリテーシ

ンの役割」との題目でご講演いただきました。充実した内容であり、講演後の質疑応答も活発に行われました。

次回の委員会で今年度の第2回リハビリテーション研修会を企画する予定です。

## キ 経営管理研究会

経営管理委員会 委員長 中島 克洋  
福岡県済生会福岡総合病院 事務部長

### 1 令和4年度 委員会開催報告

令和4年度第1回経営管理委員会

(令和4年7月19日開催)

- 協議事項
- ・委員の交代について
  - ・令和3年度第1回経営管理研究会報告
  - ・令和4年度研修計画
  - ・その他

### 2 研究会開催報告

○令和2年度第1回経営管理研究会

- ・開催日時 令和2年11月11日(水)  
15～17時

- ・会場 九州大学医学部百年講堂1階  
「大ホール」

- ・テーマおよび講師、座長

「医療におけるコスト削減と働き方改革・同一労働同一賃金のマネジメントについて」

講師 ウェルフェア・J・ユナイテッド株式会社

代表取締役社長 本間秀司 氏

座長 公益社団法人福岡県病院協会  
担当理事/済生会福岡総合病院 院長 松浦 弘 先生

- ・参加者 78人

○令和3年度第1回経営管理研究会

- ・開催日時 令和4年2月21日(月)  
15～17時

- ・開催方法 Web 配信

- ・テーマおよび講師、座長

「2022年度診療報酬改定のポイント」

講師 社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院

病院長 島 弘志 先生

座長 公益社団法人福岡県病院協会  
担当理事 / 社会医療法人水光  
会宗像水光会総合病院理事長  
津留英智 先生

・参加者 227人

○令和4年度第1回経営管理研究会 開催予定

・開催日時 令和5年2月8日(水)

14～16時30分

・会場 九州大学医学部百年講堂1階  
「大ホール」

・テーマおよび講師、座長

第一部「我が国の医療政策の動向について  
(オンライン)」

講師 内閣府大臣政務官  
参議院議員 自見はなこ 先生

第二部「2024年トリプル改定、第8次医療計画、医療のDXを含めて  
今後の医療の方向性について」

講師 社会医療法人財団董仙会  
恵寿総合病院  
理事長 神野正博 先生

座長 公益社団法人福岡県病院協会  
担当理事 / 社会医療法人水光会  
宗像水光会総合病院  
理事長 津留英智 先生

## ク 医療事務研究会

医療事務委員会 委員長 松野 徹  
医療法人西福岡病院 医事課長

<令和2年度の活動>

令和元年度の第119回医療事務研究会(令和2年3月25日開催予定『2020年診療報酬改定の概要』)が、新型コロナの影響で延期、令和2年度に持ち越されて令和2年4月21日に開催予定となっていました。結局新型コロナの影響で中止することとなりました。2020年度の診療報酬改定は、毎回開催されていた九州厚生局が行う診療報酬改定時説明会(集団指導)も中止となり、ホームページに掲載される関係資料に頼るだけとなっていましたので、各病院の医事課は改定内容の情報収集に大変苦労いたしました。

そんなコロナ禍の中でしたが、令和2年9月11日(金)に福岡県医師会館6F研修室において第1回医療事務委員会を開催し、第120回医療事務研究会

の開催について話し合いを行いました。第120回医療事務研究会は令和3年3月17日に『福岡県31病院による病院データの状況』、『病院データのいろは』、『金融機関から見た医療業界の動向・財務の着目点』をテーマに開催を予定していましたが、やはり新型コロナの影響で中止となりました。

<令和3年度の活動>

令和3年度もずっとコロナ禍の影響を受け(今よりずっと“ソーシャルディスタンス”に敏感だったこともあり)委員会を開催出来ず、メールと電話のやり取りだけで第121回医療事務研究会の開催準備を行いました。結局WEB開催となってしまいましたが、(株)リンクアップラボ代表取締役の酒井麻由美氏を講師に招き『2022年診療報酬改定の概要』をテーマに実施して227名の参加がありました。「ほすびたるNo.760」にQ&Aを掲載しています。

<令和4年度の活動>

令和4年6月7日に福岡県中小企業振興センターの会議室において第1回医療事務委員会を開催し、「委員の交代について」と「第121回医療事務研究会の報告」および「第122回医療事務研究会の開催について」を議題に話し合いを行いました。令和4年10月25日も同所において第2回医療事務委員会を開催し「第122回医療事務研究会」の開催日・場所とテーマを以下の通り決定いたしました。

開催日：令和5年2月15日(水)

場所：九州大学医学部百年講堂 大ホール

テーマ：『医療事務のデジタル化!!』

～RPA活用の人材不足・残業業務削減の対応～

## 4 参与のご意見

ア 大和日美子参与(福岡県看護協会 会長)  
のご意見

- 少子高齢化が進み医療業界、現に看護職や看護補助職は人材確保が難しい状況にあります。このため、これからの医療業界は、少数精鋭で担っていかなければなりません。そうした中、病院協会における各種研修会の開催は、益々重要な意味をもってくると思います。意見を求められた病院委員会の開催についても、準備が大変だと思いますがぜひ続けてい

ただきたい。また、病院の紹介や委員会の活動等が載っている「ほすびたる」を楽しみにしており、コロナが落ち着いたら、ぜひ通常に戻していただければと思います。

#### イ 藤井靖士氏（西日本シティ銀行上原参与の代理）のご意見

- 今日の説明を聞いて参考になりました。DXや人材不足は、銀行にも共通した課題です。対策としてのデジタル化、DX化については、銀行でも商材の斡旋や提案をしています。各業界で急激にDX化が進められており、医療業界でもどのような形で医療のDX化が推進されていくのか、現場に意見を聴かせていただければ、銀行からの提案にもつながると思いますので、よろしく願います。

#### ウ 井上正義参与（福岡県弁護士会 弁護士）のご意見

- かつて参与は厳しい意見を述べていたというご発言がありましたので、厳しい意見を言うべきかと思いましたが、タイムリーなテーマを決め、優れた講師を選び研修に取り組まれていることはやはり意義深いことです。苦言を呈するようなことはありません。コロナ禍で対面での開催が難しくなるのは世の中共通することで、自分が関与する裁判でも電話やWEBでという感じです。WEBを活用して上手にやられていると感じましたが、資料を見ると参加者が随分減っている印象があります。減っている理由の説明があるとよかったです。

#### エ 中西裕二参与（日本公認会計士協会北部九州会 公認会計士）のご意見

- 4年ぶりに参加しましたが、しっかり研修をやられていると感じました。病院の会計監査に入ると、コロナ禍のこの3年間は細かいことは後でという感じでしたが、徐々に平常時に戻りつつ、違う事を考えていかなければならないと変わってきたように感じます。今日のお話からも経営面でも色々やらなけ

ればならないことがあることがよくわかりました。

医療業界は自ら学ぼうとする業界だと思います。自ら学ぼうとする方々に、教育の機会を少しでも多く提供し、勉強した人が、考えて行動することにより、効率化や資質の向上が図れるのかなと思います。そうした点から、各委員会の活動はすごく重要です。WEBの場合、学ぶ人、学ばない人にはっきり分かれますが、医療業界は自ら学ぼうとする人が多いので、有効なツールだと思います。平常時でもWEBをツールとして使うことで、受講者の数にも表れてくるのではないかと思います。

#### オ 下崎千加氏（西日本新聞社井上参与代理）のご意見

- 研修会のテーマを見させていただき、出席したい研修会がいくつもありました。新聞のテーマになりそうなテーマもあり、ぜひ学ばせていただきたいと思います。私は、2020年の夏に医療担当の編集委員になりましたが、その頃は新型コロナに限られた病院だけで必死に対応していました。ある病院の先生がSOSを出して一気にコロナ病床が拡がり、後方支援病院、発熱外来病院も増えて、少しずつ負担が軽減されていきました。非常事態であったからこそ、日ごろの病院間のつながりが生きた面があるのではないかと思います。大変だと思いますが、病院、院長先生同士の交流を図るため病院委員会は何とか続けていただき、ほすびたるについてもぜひ続けてほしいと思います。
- 平専務理事は、出席いただいた参与、報告を行った正副委員長及び担当理事に謝意を表すとともに、本日頂いた意見を各委員会の研修会等の企画に活かしていきたいと述べた。続けて、福岡県病院協会の最も重要な任務は、様々な分野や職種のレベルアップや情報共有であるとして、今後もしっかり取り組んでいく決意を述べ、参加者に協力をお願いして、懇談会は終了した。

# 謹賀新年

2023（令和5）年



## 公益社団法人 福岡県病院協会 役員名簿

（役員任期：令和6年度定時会員総会終結時まで）

役職名	氏名	所属病院及び役職
会長	中村 雅史	九州大学病院 病院長
副会長	志波 直人	久留米大学病院 病院長
副会長	田中文啓	産業医科大学病院 病院長
副会長	岩崎 昭憲	福岡大学病院 病院長
副会長	一宮 仁	国家公務員共済組合連合会浜の町病院 顧問
専務理事	平 祐二	医療法人原三信病院 理事長
総務理事	岩永 知秋	久山療育園重症児者医療療育センター センター長
財務理事	伊東 裕幸	宗像医師会病院 病院長
企画理事	壁村 哲平	済生会二日市病院 院長
理事	江頭 啓介	さくら病院 理事長
〃	於保 和彦	一般財団法人医療・介護・教育研究財団柳川病院 院長
〃	桑野 博行	福岡市立病院機構福岡市民病院 院長
〃	小嶋 享二	福岡県立精神医療センター太宰府病院 院長
〃	島 弘志	社会医療法人天神会 副理事長・総病院長
〃	津留 英智	社会医療法人水光会宗像水光会総合病院 理事長
〃	富松 愈	医療法人富松記念会三池病院 院長
〃	中房 祐司	福岡赤十字病院 院長
〃	平城 守	公立八女総合病院 企業長・院長
〃	前原 喜彦	公立学校共済組合九州中央病院 病院長
〃	増本 陽秀	飯塚病院 院長
〃	松浦 弘	済生会福岡総合病院 院長
〃	森田 茂樹	国立病院機構九州医療センター 院長
〃	山下 博徳	国立病院機構小倉医療センター 院長
〃	横倉 義典	ヨコクラ病院 院長
〃	渡邊 憲太郎	医療法人西福岡病院 院長
監事	野村 秀幸	社会医療法人原土井病院 院長
〃	原 寿郎	福岡市立病院機構福岡市立こども病院 理事長・院長
議長	岡嶋 泰一郎	社会保険仲原病院 顧問
副議長	樋口 雅則	福岡ハートネット病院 院長
顧問	今泉 暢登志	医療法人済世会河野病院 院長
〃	河野 正美	医療法人済世会河野病院 理事長
〃	瓦林 達比古	一般社団法人福岡県社会保険医療協会 理事長
〃	久保 千春	中村学園大学・中村学園大学短期大学部 学長
〃	石橋 達朗	九州大学 総長
〃	岡留 健一郎	済生会福岡医療福祉センター 総長
〃	上野 道雄	国立病院機構福岡東医療センター 名誉院長
〃	寺坂 禮治	福岡赤十字病院 名誉院長
〃	赤司 浩一	九州大学病院 第一内科教授

（令和5年1月1日現在）



## 有明医療圏の急性期医療の一翼を担う大牟田市立病院

地方独立行政法人大牟田市立病院  
理事長・院長 鳥村 拓司

2022年4月1日に地方独立行政法人 大牟田市立病院の理事長・病院長を拝命しました鳥村拓司と申します。どうぞよろしく願いいたします。

私は1976年に久留米大学医学部に入学し、硬式テニスに明けくれた6年間を過ごした後、1982年に谷川久一先生が主宰されていた第二内科（現 消化器内科）に入局しました。以来今年3月末で教授を退任するまで主に肝細胞癌の基礎及び臨床研究を行ってきました。

大牟田市立病院は、昭和12年に開設された「大牟田市診療所」を前身とし平成22年に現在の「地方独立行政法人 大牟田市立病院」となりました。病院は今年で築27年目となり、所によってはややくたびれた感じがしないでもありませんが、努めて院内を清潔に保つことで何とか対応しています。当院は「良質で高度な医療を提供し、住民に愛される病院を目指す」を基本理念とし、救急告示病院、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院などの指定を受け、主に有明医療圏における急性期の医療や高度ながん診療など重要な役割を担っています。許可病床数は320床（コロナ病床：15床）で、30診療科と腎センター、化学療法センター、健診センター、内視鏡センターの4センターからなり、現在は医師62名、医療スタッフ349名、事務職31名の職員が勤務しています。

大牟田地域の病院やクリニックの先生方とお話をしていると、「大牟田市立病院は有明医療圏における最後の砦だからしっかり頑張ってもらいたい」といったことをよくお聞きします。つまり、日頃から患者さんをご紹介いただいている先生方は、自分たちの病院やクリニックで手

に余る患者さんは大牟田市立病院に紹介し診察、治療をしてもらいたいと考えておられます。このようなニーズにお応えするため、2022年6月から患者さんの紹介受診をよりスムーズにすることを目的とし、紹介の先生との間に「患者診療ホットライン」を開設しました。まだまだ十分に認知されたとは言えませんが、最近ではホットラインの利用数が月間150件を超え、そこからの入院患者数も70人程度になっています。今後さらに、このホットラインの周知を図っていきたいと思います。

実際の診療に関しては、大病院が集中する福岡市のような都市部と異なり、県南部地域では急性期疾患全般に対応可能な病院はいくつもあるわけではありません。しかしながら、三次救急の指定を受けている病院にどんどん患者さんを搬送したのでは三次救急医療機関がすぐにパンクしてしまいます。そのような事態を防ぐためには、病院の医療レベルを向上させて加療可能な疾患を増やし、可能な限りこの地域で治療を完結させる必要があります。このため大牟田市立病院は来年度に、手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入します。今後も最先端の医療機器を導入し、病院の診療レベルを向上させていきたいと考えています。

今後大牟田市立病院は時代の要請に対応し、新しいステージへ医療体制を整備しながら、有明医療圏の急性期対応病院として「患者さんファースト」の医療を心掛け、日本一患者さんに愛される病院を目指して職員一丸となり努力してまいります。皆様のご支援ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げて、私のご挨拶とさせていただきます。



## 院長就任のあいさつ

医療法人翠甲会甲斐病院  
院長 島田 洋

このたび甲斐病院院長に就任した島田洋です。就任のあいさつの機会をいただきありがとうございます。

医療法人翠甲会甲斐病院は柳川市にある精神科病院です。柳川は水郷として知られていますが、甲斐病院も周囲を、水路に囲まれております。水路には魚や昆虫などもおりますが、目立つのは外来種のみししッピーアカミミガメです。イシガメもクサガメもほとんど見かけません。水路をはさんで東側には古いお寺がいくつかあり、大きな楠など緑豊かな環境です。夜は、カラスのねぐらとなります。特に11月から2月末にかけては、大陸から渡ってきたミヤマガラスの大群を見ることができます。日没前後には、ねぐら入りする前のミヤマガラスが電線にびっしりと並びます。実に壮観です。

当院の標榜科目は精神科、心療内科、内科。入院ベッド数は170床。病院の開設は昭和22年だと聞いております。入院患者さんの病名としては統合失調症、知的障害、認知症などがあります。どこの精神科病院でも同じとは思いますが、入院患者さんもすっかり年をとりました。それだけ長期入院の方が多かったということです。

外来はそれこそ様々な方が来られます。「不安・不眠」や「おちこみ」を訴える方がすくぶる多いという印象です。外来患者さんは会計で数百円から数千円あるいはそれ以上を払って行かれます。お金をいただくからには、その金額に見合うだけの精神科なりの診療サービスを提供せねばならないでしょう。お金だけ取られて何にもならなかったというのはいけないでしょう。そういうつもりで対応しているつもりです。

が、患者さんや家族さんの病院を見る目はけっこう厳しいものがあるようです。

当院は長年にわたり甲斐保が院長職にありましたが、令和4年6月から私が院長職に就くこととなりました。私は、九州大学医学部を卒業後、大学病院や民間の病院に勤務し、現在に至っております。

院長にはなったものの、一勤務医としての業務を継続しているような状況です。病院として、どんな理念を掲げていいのやらよくわかりません。少なくともむずかしいことは言いたくない。それじゃどんな姿勢で精神科医療に取り組んでいけばいいんでしょう。個人的には「正義の味方甲斐病院」「皆の味方甲斐病院」かなと思います。何のことやらさっぱりわかりません。

当院は、診療・看護・設備・運営などいろいろな問題点はあると思います。しかし、職員の仕事の姿勢は、良心的あるいは良心的であろうと努めています。この雰囲気や大事にしながら病院全体で日々の業務を地道にこなしていきたいと思っています。

精神科病院の入院患者数の減少は全国的な現象です。当院も例外ではありません。この大きな流れはさらに強くなることと思います。病院経営はむずかしくなる一方です。どう対応していけばいいか模索しているところです。

甲斐病院という地方の精神科病院がなんとか生き延びようとそれなりに努力しております。なかなか面白い風景です。

いろいろまとまりなく書いてきましたが、以上で私の院長就任のあいさつといたします。最後までお読みいただきありがとうございました。

## ウサギ、卯そして医学と兎

国立病院機構九州医療センター 名誉院長 朔元 則  
学校法人原学園看護専門学校 名誉校長

### ウサギ

ウサギは動物学的にはウサギ目、ウサギ科に分類される哺乳類で、学名は Leporinae Trouessart である。世界中至る所に分布しており、日本でも各地の縄文時代の貝塚からウサギの骨が多数出土しているため、古くから棲息していたと考えられる。

声帯を持たないため鳴くことはないが、発達した後肢を強く地面に打ち付けるスタンピングという行為でコミュニケーションを図るということである。大きな耳を持つので聴力は大変優れているが、視力は弱いということである。

欧米では古くから食用として狩猟の対象であったが、日本では天武天皇による肉食禁止令（西暦675年）によって食べることが禁じられていたため、公的には狩猟の対象とはならなかった。しかし陰では食用に供されていたと考えられ、ウサギを匹ではなく1羽、2羽と数える日本の習慣は、「ウサギは獣ではなく鳥類であるというごまかしの手段」に由来すると考えられている。明治維新以降は当然のことながら重要な蛋白源のひとつとなった。上野公園に立つ西郷隆盛像は、愛犬ツンを連れて兎狩りを楽しむ隆盛の姿を模したものだそう。

ウサギは繁殖期を持たない通年繁殖動物であるため繁殖力が強い。アングロサクソンの多産と豊穰を司る春の女神エオストレ（Eostre、復活祭 easter の語源である）のお使いの動物はウサギである。ウサギは昼行性で人目に付きやすく、大きな耳が特徴的で可愛いので、ピーターラビットに代表されるように、イメージキャラクターとしても大人気である。プレイボーイクラブのウェイトレスもバニーガールと呼ばれるウサギのコス

チュームで有名であるが、これを「年中発情しているのはヒトとウサギだけだから…」と解釈するのは少し穿ち過ぎであろうか…。

### 卯（う、ボウ）

卯は十二支の4番目に登場する語で、方位を示す言葉として用いる場合は真東を意味する。南北を貫く線のことを子午線と表現しているのには現在でもしばしばお目にかかるが、東西を貫く線のことを卯酉線と表現する言葉は完全に死語になってしまった。

「卯の刻」と時間を表現する場合は午前6時頃を示すことになる。手許にある漢和大辞典（学習研究社1978年刊）を繙いてみると、卯飯（午前6時に食べる朝食）、卯簿（役所の出勤簿）という言葉が並んでいるが、これももう完全な死語である。

二十四節気では卯の月の初日が啓蟄（冬籠りしていた虫たちが土の中でムズムズと動き始める日）となっているので、卯は「日の出や春の訪れなど、始まりを示す言葉」として捉えるのが適切であろう。5月の別称皐月、10月の神無月、12月の師走などの言葉は現在でもごく普通に使用されているが、4月を意味する卯月という表現には滅多にお目にかからない。4月は新学期の始まりであるから、卯月という表現ももっと使用されても良いのではないだろうか…。

漢和大辞典によると「卯」という漢字は「門を無理にこじ開ける様を示している」ということである。貿易という言葉は「外国の門を無理にこじ開けて財貨（貝）を得る」という言葉を意味しているとも考えられる。「卯」を考察しているといろいろ面白いことが解ってくる。

## 因幡の白兔

医療行為に関する我が国の最古の記録は、古事記（西暦712年に完成）にある「因幡の白兔の物語」であると言われている。現在はどうなのかは知らないが、昔は国語の教科書や小学唱歌に取り上げられていた日本人なら誰でも知っている大変有名な物語である。詳述は避けるが大要は次のようなものである。

ワニ（鮫）を騙して海を渡ろうとした白兔が、嘘が露見してワニに毛をむしられて赤裸にされてしまった。いじわるな八十神（物語では大国主命の兄達）に「海水で身体を洗い、風に当たって乾燥させなさい…」と教えられ、益々病状が悪化して泣いていた白兔に対し、大国主命が「水で洗って塩気を落とし、蒲の穂を集めて花粉を敷き詰めその上を転がり廻れ…」と教え、白兔は元通りの白い肌を取り戻すことが出来た。

私の学生時代は「創面は乾燥させた方がよい」という考えが一般的で、熱傷時の水疱など綺麗に切除した後に乾燥したガーゼで被っていた。しかし現在は湿潤環境下での創傷治癒（moist wound healing）が強調されている。我が国最古の医療記録「因幡の白兔の物語」をこのような観点から考えるととても面白い。

## 発癌実験と兎の耳

近代医学の発展に大きな貢献をした兎の耳の話である。東京帝国大学の山極勝三郎教授（1863～1930）は、煙突掃除夫には皮膚癌を発生する者が多いという事実からヒントを得て、コールタールによる発癌実験に取り組んだ。山極は東北帝国大学農科大学（現在の北海道大学）畜産科を卒業した市川厚一に命じて、101匹の家兎の耳に1～2日おきにコールタールを丹念に擦り込ませたのである。

実験開始5ヶ月後には上皮が異常増殖してパピローマが出現した。1915年（大正4年）の夏、実験開始後半年以上が経過して市川が持参した標本を顕微鏡で観察した山極は突然立ち上がり、「成

功、成功」と叫びながら部屋中を歩きまわったそうである。世界で最初の人工発癌の成功であった。この時、山極が詠んだ句が、

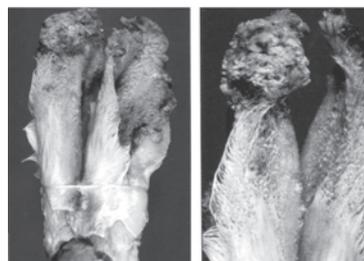
癌出来つ意気昂然と二歩三歩

という句で、東大医学部病理学教室には山極自筆の句碑が掲示してある。

デンマークのヨハネス・フィビゲル（Johannes Andreas Grib Fibiger 1867～1928）が山極に先駆けてラットに人工的に胃癌を発生させるのに成功したとされ、1926年にノーベル生理学医学賞が授与された。しかし当時からフィビゲルの研究は一般的でなく、「山極の研究こそが癌研究の発展に寄与するものである」という意見があったにもかかわらずのノーベル賞授与であった。1952年になってアメリカのヒッチコークとベルが、「フィビゲルが観察した病変はビタミンA欠乏症のラットに寄生虫が感染した時に起こる病変であり癌ではない」ということを証明している。山極は1925年、26年、28年のノーベル賞にもノミネートされていたのであるが受賞できなかった。ノーベル財団の資料によると、選考委員会で「東洋人にノーベル賞は早すぎる…」と発言した委員がいたそうである。

余談ながら、ノーベル賞にも後世になって間違いであったとされる業績がある。このフィビゲルの論文と1949年の生理学医学賞に輝いたポルトガルの神経学者エガス・モニス（António Caetano de Abreu Freire Egas Moniz 1874～1955）の精神病に対する前頭部大脳神経切断術（ロボトミー）の業績がその代表例であろう。

兎の耳はバニーガールの頭上でプレイボーイクラブの売りに貢献しているだけでなく、医学の発展にも大きな貢献をしたのである。



山極勝三郎教授の実験で発癌した兎の耳

## 人体旅行記 乳房（その十三）

国立病院機構 都城医療センター 吉住 秀之  
院長

乳房の数の異常として副乳として現れることがあります。胎生期の乳腺原基がある milk line(乳堤線) 上すなわち、腋窩から乳房下、腹部を経て両鼠径部、外陰部、大腿内面に存在するのが一般的です。迷入乳腺から発生するものもあり、腋窩や傍胸骨部、鎖骨下などにもみられます。

中国、明時代の『五雑俎』という書物には、周の始祖文王には四つの乳があったと記載されているのは、多分副乳でしょう。1974年に公開された007シリーズの一つ『黄金銃を持つ男』ではジェームズ・ボンドの敵役のスカラマンガ（ドラキュラで当たり役のクリストファー・リーが演じていました）には副乳があるという設定でしたが、左胸部の副乳の位置からすると彼の場合は、迷入乳腺から発生したものと推測されます。

逆にあるべき乳腺がない異常としては、無乳房症（amastia）と無乳腺症（amazia）が知られています（-iaは“状態”を示す接尾語）。似たような用語ですが、無乳房症（amastia）とは、乳房と乳頭がすべて欠損している疾患で、無乳腺症（amazia）とは乳腺組織が欠損している異常です。両側の無乳房症は単独でも起こりますが、無汗性外胚葉形成不全やポーランド症候群<sup>1)</sup>の症候としてもみられます。血縁のあるイスラエル・アラブ人の1家系の同胞2例の無乳頭症と乳腺欠損患者において、プロテインチロシンホスファターゼレセプターF型(PTPRF)遺伝子のホモ接合変異がその原因として報告されています<sup>2)</sup>。

無乳腺症の病名の語源の「アマゾン」は、グローバル企業の社名ではなくて、『イーリアス』の中でギリシャ軍に圧されて窮地に立ったトロヤ軍の援軍に最初に駆けつけた女戦士軍団の名前です。伝説によれば、騎馬集団であった彼女たちは弓を引くときに右側の乳房が邪魔になるため切り落としていたためアマゾン（“a [無] + “mazos [乳]”）と呼ばれた

ということです（邪魔になるほど大きかったのかとあらぬ想像をしていますが）。

乳房を切り落とされた女性といえば、聖女アガタが有名です。彼女はキリスト教を酷薄に迫害したデキウス帝（在位249～251）の治世下250年にシチリア島カタニア市の貴族の家庭に生まれた敬虔かつ美貌の人でした。そんな彼女を見初めたのが州の総督クインティアヌスでした。悲劇の美女にありがちなパターンどおり、彼は下劣な好色漢でアガタを我が物にしようと迫りますが、敬虔なキリスト教徒である彼女は拒絶します。怒り狂った総督は彼女を拷問にかけたあげく両乳房を切断します。それでも信仰を捨てなかった彼女は聖女とされ、宗教画では切断された乳房を盆の上に持つ姿で描かれます。フランシスコ・デ・スルバラン Francisco de Zurbarán（1598～1664）が描いた絵では、他人の両側乳房の切除標本を持つような澄ました顔のアガタ像が描かれています<sup>3)</sup>。昔は釣り鐘職人やパン焼き職人の守護聖人とされていましたが、現在は乳癌患者の守護聖人にもなっています。ご当地シチリアでは彼女の乳房を象ったお菓子（Cassatella di sant'Agata）も売られています。カップごとのサイズがあるのかどうかは知りませんが、聖女の乳房のお菓子を銘菓とするあたり、商魂のたくましさに恐れ入ります。

- 1) ポーランド症候群という疾患は胸筋の欠損を中核とする疾患で、この名前は、国名ではなく最初に報告した人名に由来します。Poland A (1841) Deficiency of the pectoral muscles. Guy's Hosp Rep 12 :191
- 2) Kowlessar M, Orti E (1968) Complete breast absence in siblings. Am J Dis Child. 115: 91-92, 1968, Borck G et al. (2014) Homozygous truncating PTPRF mutation causes athelia. Hum Genet 133: 1041-1047
- 3) <https://www.pubhist.com/w34699>

## ◎ 令和4年度 第8回理事会

日時 11月8日(火) 午後4時〈会議室〉

議題

1. 会長あいさつ
2. 協議事項
  - (1) 会員異動について
  - (2) 研修会について
  - (3) 地域医療構想について
  - (4) 新型コロナウイルス感染症対応について
  - (5) 次期診療報酬改定に関する要望事項について
  - (6) その他
3. 会議報告
  - ・第5回保険診療の手引き作成委員会(10/28)
4. 報告事項
  - (1) 私設病院協会 (2) 看護学校
  - (3) 医療関連協業組合 (4) 全日病、日慢協、日医法人協 他連絡 (5) その他

## ◎ 事務長会運営委員会

日時 11月17日(木) 午後3時〈会議室〉

議題

1. 協議事項
  - (1) 宿日直手当について
  - (2) 人事考課の評価の給与等への反映と評価者教育
  - (3) 業務委託について
  - (4) 業務改善への取り組みについて
  - (5) その他 情報交換
2. 報告事項
  - (1) 私設病院協会研修会について
  - (2) 私設病院協会9月～10月の動き

## ◎ 11月研修会

日時 11月30日(水) 午後3時～5時

場所 天神ビル11階 10号会議室

テーマ 『～働きやすい職場をめざして～

医療現場の Well-being なコミュニケーションを考える』

講師 ミッションウィル 代表 田中恵子 氏

参加数 30施設 60名

## ◎ 看護部長会運営委員会

日時 12月2日(金) 午後3時〈会議室〉

議題

1. 協議事項
  - (1) 11月研修会のふりかえり
  - (2) タスクシフト・シェアの状況について
  - (3) 看護師等の処遇改善への取り組みについて
  - (4) 大人の発達障害への対応について
2. 報告事項
  - (1) 私設病院協会研修会について
  - (2) 私設病院協会10月～11月の動き

## ◎ 広報委員会

日時 12月13日(火) 午後3時45分〈会議室〉

議題 1. 福私病ニュースの編集について

2. その他

## ◎ 令和4年度 第9回理事会

日時 12月13日(火) 午後4時〈会議室〉

議題

1. 会長あいさつ
2. 協議事項
  - (1) 会員異動について
  - (2) 研修会について
  - (3) 地域医療構想について
  - (4) 新型コロナウイルス感染症対応について
  - (5) その他
3. 会議等報告
  - (1) 福岡県医療審議会医療計画部会
  - (2) 福岡県医師会病院委員会
  - (3) 第2回診療報酬検討委員会
4. 報告事項
  - (1) 私設病院協会 (2) 看護学校
  - (3) 医療関連協業組合 (4) 全日病、日慢協、日医法人協 他連絡 (5) その他

## ◎ 12月研修会〈一般社団法人全日病福岡主催〉

日時 12月16日(金) 午後3時～5時

場所 天神ビル11階 10号会議室

演題 「医療機関の情報セキュリティと対策」

講師 デジタルデータソリューション(株)

取締役 CFO 三好啓喜 氏

参加数 34施設 45名

## 第82回 臨時理事会報告

日時 令和4年12月6日(火)16:30~16:55

会場 オリエンタルホテル福岡

博多ステーション 2F フェスタ

(福岡市博多区博多駅中央街4-23)

出席者(敬称略)

会長 中村

副会長 岩崎、志波、田中

理事 平専務理事、岩永総務理事、伊東財務理事、於保、桑野、津留、中房、平城、松浦、森田、山下、横倉、渡邊 計17名

(理事総数25名)

監事 野村、原

議長 岡嶋

副議長 樋口

顧問 河野、上野

### I 行政等からの通知文書

- (1) 理事会に文書で伝達・報告を要するもの No.
- (2) 理事会に口頭で伝達・報告を要するもの No.
- (3) 機関紙「ほすびたる」に掲載を要するもの No.
- (4) 会員への送付を要するもの No.

平専務理事から、特に報告等を要するものはなかったとの説明があった。

### II 公益目的事業関係

#### I 報告事項

- (1) 各種委員会・研修会関係

##### 【開催結果】

##### ア 診療情報管理研究委員会

森田担当理事から、報告があった。

日時 令和4年9月29日(木)15:00~16:00

開催方法 Web開催 (Zoom)

##### 協議事項

- 1 第63回診療情報管理研究研修会の開催について

##### イ 第7回臨床検査研修会

担当理事欠席のため、平専務理事から報告があった。

日時 令和4年10月1日(土)13:00~16:30

会場 ハイブリット

(九州大学医学部百年講堂「中ホール1・2」及びオンライン配信)

受講者 47名(会員43名、非会員4名)

テーマ 病院医療を変えるタスクシフト/シェア

総司会 社会医療法人財団白十字会

白十字病院 臨床検査技術部

部長 森 健一

講演I 「タスクシフト/シェアに関して」

講師 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会

専務理事 深澤恵治 先生

座長 国家公務員共済組合連合会

浜の町病院 臨床検査部

技師長 伊藤達章

講演II 「持続皮下グルコース測定における

検査技師としての役割」

講師 福岡赤十字病院 検査部

一般検査係長 加藤康夫 先生

座長 久留米大学病院 臨床検査部

副技師長 柳場 澄子

講演III 「病棟採血業務について」

講師 公益財団法人健和会大手町病院

臨床検査部中央検査科

主任 安藤友美 先生

座長 福岡大学病院 臨床検査部

副技師長 松崎友絵

#### ウ 第166回看護研修会

中房担当理事から、報告があった。

日時 令和4年10月3日(月)9:20~16:30

場所 ナースプラザ福岡1F「研修ホール」

受講者 101名(会員100名、非会員1名)

テーマ 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修(診療報酬加算対象)

##### 研修内容

##### ① 講義 (DVD視聴)

看護補助者の活用推進の背景/看護補助者の位づけ/看護補助者との協働に関する基本的な考え方/業務実施体制の整

備／看護職への教育体制の整備／看護補助者の労働環境の整備及び確保等／看護補助者の育成・研修・能力評価

② 演習

看護補助者と協働のための体制整備に関する課題に対する対策案の作成

エ 第70回栄養管理研修会

平城担当理事から、説明があった。

日時 令和4年10月15日(土)

開催方法 Web配信 (Zoomウェビナー)

受講者 119名 (会員110名、非会員9名)

テーマ 「がんの栄養管理」

講演Ⅰ 「抗がん剤治療による副作用の発現状況と制御・管理」

……9:30～11:00

講師 済生会福岡総合病院がん治療センターセンター長兼外科部長  
江見泰徳 先生

講演Ⅱ 「糖尿病など生活習慣病を併発するがん患者の血糖管理と栄養管理」

……11:15～12:45

講師 公立八女総合病院 内分泌代謝内科医長 岩田慎平 先生

講演Ⅲ 「多職種で取り組むがん患者の栄養療法ー治療開始から週末期まで継続する全人的なサポートー」

……13:30～15:00

講師 公立学校共済組合九州中央病院 脳神経内科部長・リハビリテーション科部長 竹迫仁則 先生

摂食栄養サポート室

看護師 平山文江 先生

医療技術部管理栄養科

管理栄養士 西村ゆかり 先生

医療技術部薬剤科

薬剤師 江嶋祐樹 先生

医療技術部リハビリ技術科

作業療法士 中山涼介 先生

オ 令和4年度第1回リハビリテーション研修会  
岩永担当理事から、説明があった。

日時 令和4年11月5日(土)18:10～20:15

場所 九州大学医学部百年講堂

定員 146名(会員133名、非会員13名)

講演 「地域包括ケア時代の地域リハビリテーションの役割」

講師 日本リハビリテーション病院・施設協会 名誉会長

医療法人共和会小倉リハビリテーション病院 名誉院長

浜村明徳 先生

カ 第2回リハビリテーション委員会

岩永担当理事から、報告があった。

日時 令和4年11月29日(火)15:00～

場所 TKP博多駅筑紫口センター

協議事項

1. 令和4年度第1回リハビリテーション委員会・研修会報告

2. 令和4年度第2回リハビリテーション研修会の開催について

(2) 令和5年度県民公開医療シンポジウムについて  
平専務理事から、説明があった。

運営委員長 一宮 仁 副会長

日程 令和5年9月2日(土)14:00～16:00

会場 アクロス福岡国際会議場

(福岡市中央区天神 1-1-1)

(定員 300名)

Ⅲ 収益目的事業関係

1 報告事項

(1) 各種委員会、研究会関係

【開催結果】

ア 第2回医療事務委員会

伊東担当理事から、報告があった。

日時 令和4年10月25日(火)16:00

場所 福岡県中小企業振興センター  
402号会議室

協議事項

1. 第122回医療事務研究会の開催について

イ ほすびたる編集委員会

岡嶋編集長から、報告があった。

日 時 令和4年11月8日(火)17:45

場 所 福岡県医師会館2F 事務室

及びWeb参加

協議事項

1. 11月号の現況について
2. 令和5年1月号編集計画について
3. 令和5年年賀広告掲載について
4. ほすびたる制作費の価格改定について

(2) 第81回理事会の議事録について

平専務理事から説明があり、了承された。

(3) 9、10月分の収支報告について

伊東財務理事から、説明があった。

(4) 会員の変更について

平専務理事から、説明があった。

医療法人翠甲会 甲斐病院 (柳川市)

甲斐 保 前院長→島田 洋 病院長

国立病院機構 福岡東医療センター (古賀市)

上野道雄 名誉院長→中根 博 院長

医療法人社団親和会 共立病院 (飯塚市)

古瀬俊一郎 前病院長 → 嘉悦智隆 院長

社会保険二瀬病院 (飯塚市)

八谷直樹 前院長→松波道也 院長

大牟田市立病院 (大牟田市)

野口和典 前病院長→鳥村拓司 病院長

労働者健康安全機構 九州労災病院 (小倉南区)

岩本幸英 前院長 → 三浦裕正 院長

福岡県済生会八幡総合病院 (八幡東区)

北村昌之 前院長→古森公浩 院長

地方独立行政法人北九州市立病院機構 北九州

八幡病院 (八幡東区)

伊藤重彦 前院長→岡本好司 院長

医療法人柳育会 柳病院 (八女市)

浦口憲一郎 前院長→才津秀樹 院長

医療法人永聖会 松田耳鼻咽喉科病院 (福岡市東区)

松田峻一良 前理事長→江崎嘉十 理事長

(5) 第58回九州医療ソーシャルワーカー研修会

ふくおか大会の後援について

平専務理事から、名義後援を承認したとの報告があった。

2 協議事項

平専務理事から、説明がありました。

(1) カネミ倉庫(株)との油症治療費の支払いに関する契約について

平専務理事から、同社からの願い出の趣旨・内容について説明が行われ、契約更新を行うことが承認された。

3 行事予定

平専務理事から説明があった。

(1) 令和4年12月

ア 五役会

日 時 令和4年12月13日(火)18:00~

場 所 福岡県医師会館2F 事務局

(2) 令和5年1月

ア ほすびたる編集委員会・五役会

日 時 令和5年1月10日(火)

場 所 福岡県医師会館2F 事務局

(ほすびたるは、ハイブリット開催)

① 17:45~ほすびたる編集委員会

② 18:00~五役会

イ 第63回診療情報管理研究研修会

日 時 令和5年1月26日(木)13:00~17:05

場 所 九州大学医学部百年講堂 (新型コロナ感染状況によってはWEB開催)

ウ 第25回四県病院協会連絡協議会

日 時 令和5年1月27日(金)

時間未定 (前回15:00~)

開催方法 WEB開催 (出席者は、県医師会館6F 研修室4に集合)

エ 第2回看護委員会  
日 時 令和5年1月30日(月)15:00~  
場 所 九州大学医学部百年講堂 中ホール3

ウ 第83回理事会  
日 時 令和5年2月28日(火)16:00~  
場 所 福岡県中小企業振興センター  
301会議室

(3) 令和5年2月

ア 第1回経営管理研究会  
日 時 令和5年2月8日(水)14:00~16:30  
場 所 九州大学医学部百年講堂 大ホール  
及びWEB配信  
(新型コロナウイルス感染状況によっては  
WEB開催)

(4) 令和5年3月

ア ほすびたる編集委員会・五役会  
日 時 令和5年3月14日(火)  
① 16:45~ほすびたる編集委員会  
② 17:00~五役会  
場 所 福岡県医師会館 2F 事務局  
(ほすびたる編集委員会はハイブリット)

イ 第122回医療事務研究会

日 時 令和5年2月15日(水)13:25~15:00  
場 所 九州大学医学部百年講堂 大ホール  
(新型コロナウイルス感染状況によっては  
WEB開催)

イ 理事会・臨時会員総会

日 時 令和5年3月22日(水)  
① 16:00~理事会  
② 17:00~臨時理事会  
場 所 福岡県医師会館6F 研修室3

## 医療・福祉、介護など全ての医療環境をサポートします

サービス内容

- ・医療機器、医療器具、医療消耗品の販売
- ・病院給食に関連した業務用食材及び厨房器機等の販売
- ・病院、介護施設に関する工事及び物品の販売
- ・臨床検査・水質検査・検便検査から食中毒検査などの検査
- ・看板、チラシ、インターネット等を利用した広告作製

これまで培ったノウハウを生かし、開業前の構想~開業後の施設経営まで九州・沖縄の医療機関、介護施設などの経営を全力でサポートいたします。

# 有限会社 DMS

(ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号3F  
TEL:092-525-7666・7667 FAX:092-525-7668

福岡県精神科病院協同組合

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号2F  
TEL:092-521-0690 FAX:092-524-4632

# 謹賀新年

今年が皆様にとって良い年でありますように  
心からお祈り申しあげます

2023（令和5）年1月

「出雲大社」のウサギたち



九州大学病院  
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

病院長 中村 雅史

〒812-8582  
福岡市東区馬出3丁目1番1号  
電話 (092)641-1151 FAX (092)642-5008  
URL <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>



福岡大学病院  
Fukuoka University Hospital

病院長 岩崎 昭憲

〒814-0180  
福岡市城南区七隈七丁目45番1号  
電話 (092)801-1011 FAX (092)862-8200  
URL <http://www.hop.fukuoka-u.ac.jp>



久留米大学病院  
KURUME UNIVERSITY HOSPITAL

病院長 志波 直人

〒830-0011  
久留米市旭町67番地  
電話 (0942)35-3311(代) FAX (0942)32-6278  
URL <https://www.hosp.kurume-u.ac.jp>  
E-mail [kanrika@kurume-u.ac.jp](mailto:kanrika@kurume-u.ac.jp)



産業医科大学病院  
Hospital of the University of Occupational and Environmental Health, Japan

病院長 田中文啓

〒807-8556  
北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号  
電話 (093)603-1611(代) FAX (093)691-8892  
URL <https://www.uoeh-u.ac.jp/>  
E-mail [byokan@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp](mailto:byokan@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp)

医療法人 **原三信病院**  
Harasanshin Hospital

理事長 **平 祐 二**  
院長 **原 直 彦**

〒 812-0033  
福岡市博多区大博町 1 - 8  
電話 (092)291-3434 FAX (092)291-3424  
URL <https://www.harasanshin.or.jp/>



病院長 **谷 口 修 一**

〒 810-8539  
福岡市中央区長浜 3 丁目 3 番 1 号  
電話 (092)721-0831 FAX (092)714-3262  
URL <https://hamanomachi.kkr.or.jp>



院長 **壁 村 哲 平**

〒 818-8516  
福岡県筑紫野市湯町三丁目 13 番 1 号  
電話 (092)923-1551 FAX (092)924-5210  
URL <http://www.saiseikai-futsukaichi.org>



院長 **堤 康 博**

〒 802-0835  
北九州市小倉南区大字堀越 358 番地  
電話 (093)962-1950 FAX (093)963-1075  
URL <https://tsutsumikokura.com>  
E-mail [horiko@lime.ocn.ne.jp](mailto:horiko@lime.ocn.ne.jp)



理事長 **富 永 隆 治**  
院長 **益 田 宗 孝**

〒 811-0213  
福岡市東区和白丘 2 丁目 2 - 75  
電話 (092)608-0001 FAX (092)607-3051  
URL <https://www.f-wajirohp.jp>



院長 **松 尾 義 孝**

〒 813-0002  
福岡市東区下原 2 丁目 24 番 36 号  
電話 (092)662-3200 FAX (092)662-3303  
URL <http://www.kashii-rh.net>  
E-mail [info@kashii-rh.net](mailto:info@kashii-rh.net)



医療法人社団  
正信会

## 水戸病院

理事長 増田 住博  
病院長 白橋 斉

〒 811-2298  
福岡県糟屋郡須恵町大字旅石 115 番地 483  
電話 (092)935-3755 FAX (092)935-6626  
URL <http://www.s-mito.org>

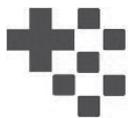


医療法人

## つくし会病院

理事長 中村 奎吾  
院長 平田 輝昭

〒 816-0902  
大野城市乙金 3 丁目 18 番 20 号  
電話 (092)503-2261 FAX (092)503-2474  
URL <http://tsukushi-kai.com/>  
E-mail [general-tsukushikai@awa.bbq.jp](mailto:general-tsukushikai@awa.bbq.jp)



国家公務員共済組合連合会

## 新小倉病院

病院長 塚本 浩

〒 803-8505  
北九州市小倉北区金田 1 丁目 3 番 1 号  
電話 (093)571-1031 FAX (093)591-0553  
URL <http://www.shin-kokura.kkr.or.jp>  
E-mail [kk-shinkokura@shin-kokura.gr.jp](mailto:kk-shinkokura@shin-kokura.gr.jp)



地方独立行政法人 福岡市立病院機構

## 福岡市立こども病院 Fukuoka Children's Hospital

院長 原 寿郎

〒 813-0017  
福岡市東区香椎照葉 5 丁目 1 番 1 号  
電話 (092)682-7000 FAX (092)682-7300  
URL <https://childhp.fcho.jp>

医療法人社団福光会

## 福田眼科病院

理事長 福田 恭江  
病院長 江島 哲至

〒 814-0013  
福岡市早良区藤崎 1 丁目 24 番 1 号  
電話 (092)841-2345 FAX (092)841-2649  
E-mail [fukudaganka@nifty.com](mailto:fukudaganka@nifty.com)

医療法人 ユーアイ

## 西野病院

理事長 西野 豊彦  
院長

〒 820-0206  
福岡県嘉麻市鴨生 532 番地  
電話 (0948)42-1114 FAX (0948)42-4790  
E-mail [nishino1114@miracle.ocn.ne.jp](mailto:nishino1114@miracle.ocn.ne.jp)



宗像医師会病院  
MUNAKATA MEDICAL ASSOCIATION HOSPITAL

院長 伊東裕幸

〒 811-3431  
福岡県宗像市田熊五丁目 5 番 3 号  
電話 (0940)37-1188 FAX (0940)37-0016  
URL <http://www.mmah.jp>

特定医療法人 東筑会  
東筑病院

病院長 早川知宏

〒 807-0856  
北九州市八幡西区八枝一丁目 7 番 20 号  
電話 (093)603-0111 FAX (093)691-4831  
URL <https://www.touchiku-hospital.com>



社会医療法人 水光会  
宗像水光会総合病院  
MUNAKATA SUIKOKAI GENERAL HOSPITAL

理事長 津留英智  
院長 田山慶一郎

〒 811-3298  
福岡県福津市日蒔野 5 丁目 7 番地の 1  
電話 (0940)34-3111 FAX (0940)43-5981  
URL <http://www.suikokai.or.jp>



社会福祉法人 豊岡 済生会支部  
福岡県済生会八幡総合病院

院長 古森公浩

〒 805-0050  
北九州市八幡東区春の町 5 丁目 9 番 27 号  
電話 (093)662-5211 FAX (093)671-2310  
URL <http://www.yahata.saiseikai.or.jp>



日本医療機能評価機構認定病院  
救急病院 指定自立支援医療機関 (更生医療)

医療法人 シーエムエス  
杉循環器科内科病院

理事長 杉健三  
院長 池田久雄

〒 837-0916  
大牟田市大字田隈 950 - 1  
電話 (0944)56-1119 FAX (0944)56-2077  
URL <http://www.sugi-hosp.jp>



医療法人 佐田厚生会  
佐田病院  
SADA HOSPITAL

理事長 佐田正之  
院長 藤原将巳

〒 810-0004  
福岡市中央区渡辺通 2 丁目 4 番 28 号  
電話 (092)781-6381 FAX (092)724-9411  
URL <https://www.sada.or.jp>  
E-mail [info@sada.or.jp](mailto:info@sada.or.jp)



医療法人社団 俊聖会

## 甘木中央病院

理事長 吉川 敦  
院長

〒 838-0068  
福岡県朝倉市甘木 667  
電話 (0946)22-5550 FAX (0946)24-3572  
URL <http://www.amagichuuou-hp.jp>



## 福岡ハートネット病院

FUKUOKA HEARTNET HOSPITAL

院長 樋口 雅 則

〒 819-0002  
福岡市西区姪の浜 2 丁目 2 - 50  
電話 (092)881-0536 FAX (092)883-8761  
URL <https://heartnet-hp.jp>

## 飯塚病院

innovate and evolve

院長 増本 陽 秀

〒 820-8505  
飯塚市芳雄町 3 番 83 号  
電話 (0948)22-3800 FAX (0948)29-5744  
URL <http://aih-net.com>



## 千早病院

国家公務員共済組合連合会

病院長 道免 和 文

〒 813-8501  
福岡市東区千早 2 丁目 30 番 1 号  
電話 (092)661-2211 FAX (092)683-0411  
URL <http://www.chihaya-hp.jp/>  
E-mail [chihayahp@chihaya1.po-jp.com](mailto:chihayahp@chihaya1.po-jp.com)



地域医療支援病院

## 糸島医師会病院

ITOSHIMA MEDICAL ASSOCIATION HOSPITAL

病院長 富田 昌 良  
あき ら

〒 819-1112  
福岡県糸島市浦志 532 番地 1  
電話 (092)322-3631 FAX (092)322-1206  
URL <http://itomedhp.jp/>

創立 68 周年 (1955 年創立)

救急病院 開放型病院 臨床研修病院指定



## 医療法人 西福岡病院

日本医療機能評価機構認定病院 (3rdG:Ver1.1)

理事長 安藤 文英  
院長 渡辺 憲太郎

〒 819-8555 福岡市西区生の松原 3 丁目 18 番 8 号  
TEL.092-881-1331 FAX.092-881-1333  
URL <http://www.nishifukuhp.or.jp>  
Mail [jim@nishifukuhp.or.jp](mailto:jim@nishifukuhp.or.jp)



独立行政法人 国立病院機構  
福岡東医療センター

院長 中根 博

〒 811-3195  
福岡県古賀市千鳥1丁目1番1号  
電話 (092)943-2331 FAX (092)943-8775  
URL <https://fukuokaehosp.go.jp/>



院長 児嶋 良太

〒 820-0045  
福岡県飯塚市花瀬 87 番地 1  
電話 (0948)22-1498 FAX (0948)28-8131  
URL <https://www.kojima-hospital.com>



社会医療法人 雪の聖母会

理事長 井手 義雄

聖マリア病院

病院長 谷口 雅彦

〒 830-8543 福岡県久留米市津福本町 422 番地  
電話 (0942)35-3322 FAX (0942)34-3115  
URL <https://www.st-mary-med.or.jp>

聖マリアヘルスケアセンター

病院長 井手 睦

〒 830-0047 福岡県久留米市津福本町 448 番 5  
電話 (0942)35-5522 FAX (0942)34-3306  
URL <https://www.st-mary-health.jp>



社会福祉法人 済生会支部

福岡県済生会福岡総合病院

院長 松浦 弘

〒 810-0001  
福岡市中央区天神一丁目三番四六号  
電話 (092)771-8151 FAX (092)716-0185  
URL <https://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp>  
E-mail [byoin@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp](mailto:byoin@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp)



医療法人社団 江頭会

さくら病院

理事長 江頭 啓介

院長 江頭 省吾

〒 814-0143  
福岡市城南区南片江 6 丁目 2 番 32 号  
電話 (092)864-1212 FAX (092)865-4570  
URL <http://www.sakurahp.or.jp>



社会医療法人 喜悦会

那珂川病院

理事長 下川 敏弘

院長 吉村 寛志

〒 811-1345  
福岡市南区向新町 2 丁目 17 - 17  
電話 (092)565-3531 FAX (092)566-6460  
URL <http://www.nakagawa-hp.com>



地方独立行政法人 北九州市立病院機構

北九州市立医療センター

Kitakyushu Municipal Medical Center

理事長 中西 洋 一  
院長 中野 徹

〒 802-8561  
北九州市小倉北区馬借二丁目 1 - 1  
電話 (093)541-1831 FAX (093)533-8693  
URL <https://www.kitakyu-cho.jp>  
E-mail [byou-iryuu-kanri@kitakyu-cho.jp](mailto:byou-iryuu-kanri@kitakyu-cho.jp)

地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院



一般社団法人 福岡県社会保険医療協会

社会保険 田川病院

院長 黒松 肇

〒 826-0023  
福岡県田川市上本町 10 番 18 号  
電話 (0947)44-0460 FAX (0947)45-6540  
URL <https://www.s-tagawa-hp-.tagawa.fukuoka.jp>



地方独立行政法人 福岡市立病院機構

福岡市民病院

院長 桑野 博行

〒 812-0046  
福岡市博多区吉塚本町 13 番 1 号  
電話 (092)632-1111 FAX (092)632-0900  
URL <https://www.shiminhp.fcho.jp>  
E-mail [shiminbyoin@fcho.jp](mailto:shiminbyoin@fcho.jp)



田川市立病院

田川市 鴻江 俊治  
病院事業管理者

病院長 松隈 哲人

〒 825-8567  
田川市大字糶 1700 番地 2  
電話 (0947)44-2100 FAX (0947)45-0715  
URL <http://hospital.city.tagawa.fukuoka.jp>  
E-mail [shiritsubyoin@lg.city.tagawa.fukuoka.jp](mailto:shiritsubyoin@lg.city.tagawa.fukuoka.jp)

医療法人 済世会

河野病院

KAWANO Hospital

理事長 河野 正美  
院長 今泉 暢登志

〒 811-2413  
福岡県糟屋郡篠栗町尾仲 139  
電話 (092)947-0611 FAX (092)947-8598  
URL <https://www.kawano-hp.com>



公立八女総合病院

Yame General Hospital

院長 平城 守

〒 834-0034  
福岡県八女市高塚 540 番地 2  
電話 (0943)23-4131 FAX (0943)22-3185  
URL <http://www.hosp-yame.jp>



公益社団法人福岡医療団

# 千鳥橋病院

福岡医療団  
FUKUOKA IRYO DAN

CHIDORIBASHI HOSPITAL

院長 山本 一 視

〒 812-8633

福岡市博多区 5-18-1

電話 (092)641-2761 FAX (092)633-3311

URL <https://www.chidoribashi-hp.or.jp>



# 福岡赤十字病院

日本赤十字社

院長 中房 祐 司

〒815-8555

福岡市南区大楠3丁目1番1号

電話(0570)03-1211 FAX(092)522-3066

URL <https://www.fukuoka-med.jrc.or.jp/>



医療法人徳洲会

# 福岡徳洲会病院

Fukuoka Tokushukai Hospital

院長 乗 富 智 明

〒 816-0864

福岡県春日市須玖北4丁目5番地

電話 (092)573-6622 FAX (092)573-1733

URL <https://www.f-toku.jp>



# 原土井病院

HARADOI HOSPITAL

理事長 原 寛  
院長 野 村 秀 幸

〒 813-8588

福岡市東区青葉6丁目40番8号

電話 (092)691-3881 FAX (092)691-1059

URL <https://www.haradoi-hospital.com>

E-mail [info@haradoi-hospital.com](mailto:info@haradoi-hospital.com)



公立学校共済組合

# 九州中央病院

Kyushu Central Hospital

病院長 前 原 喜 彦

〒 815-8588

福岡市南区塩原3丁目23番1号

電話 (092)541-4936 FAX (092)541-4540

URL <https://kyuchu.jp/>



# 福岡大学西新病院

Fukuoka University Nishijin Hospital

病院長 三 浦 伸一郎

〒 814-8522

福岡市早良区祖原15番7号

電話 (092)831-1211 FAX (092)831-3398

URL <https://www.nishijin.fukuoka-u.ac.jp>



独立行政法人 地域医療機能推進機構  
Japan Community Health Organization : JCHO  
**福岡ゆたか中央病院**  
Fukuoka Yutaka Central Hospital

院長 **松本 高宏**

〒 822-0001  
福岡県直方市大字感田 523 番地 5  
電話 (0949)26-2311 FAX (0949)26-6748  
URL <http://fukuoka.jcho.go.jp>



社会医療法人  
**弘恵会 ヨコクラ病院**

理事長 **横倉 義武**  
院長 **横倉 義典**

〒 839-0295  
福岡県みやま市高田町濃施 480 番地 2  
電話 (0944)22-5811 FAX (0944)22-2045  
URL <https://yokokura-hp.or.jp>

掲載は受付順にさせていただきます。





一番大切な思いやり…  
**「安心・安全・清潔」**

**TAIYO 太陽セランドグループ**  
**太陽セランドホールディングス株式会社**  
 〒812-0044 福岡市博多区千代 1-1-5  
 TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

**太陽セランド株式会社**  
 〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200  
 TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 社長 **中島 健介**



医療関連  
サービスマーク認定

**太陽セランドグループ会社**

- ▮ 太陽セランドホールディングス株式会社
- ▮ 太陽セランド株式会社
- ▮ 株式会社北九州シーアイシー研究所
- ▮ 株式会社メディカルナビゲーション
- ▮ 太陽シルバーサービス株式会社
- ▮ ジャパンエアマット株式会社

お問い合わせ TEL 0947-44-1847    Mail [info@taiyoseland.co.jp](mailto:info@taiyoseland.co.jp)    Web <http://www.taiyoseland.co.jp>

あけまして、おめでとうございます。

ほすびたる 760 号をお届けします。今号は令和 5 年度の第 1 号となります。巻頭に、福岡県知事の服部誠太郎様、福岡県医師会長の蓮澤浩明様、それに、当病院協会の中村雅史会長より年頭のご挨拶をいただきました。新年に向かつての、皆様の抱負をうかがい、大変心強く思いました。ご寄稿いただいた皆様に、深謝申し上げます。また、会員の皆様からは、たくさんのお年賀をいただき、編集委員会一同、心より御礼を申し上げます。

さて、昨年末に開催されました、第 12 回福岡県病院協会参与・各種委員会正副委員長懇談会の報告を、当協会の平専務理事よりいただいておりますが、懇談会の席上、参与の方々より、「ほすびたる」に対するお褒めの言葉をいただきました。「ほすびたる」には、医療に関する有用な情報がたくさん掲載されており、とても参考になる記事が多い。コロナ禍の中で、隔月の発刊になっているが、ぜひ以前のように、毎月の発行に戻してほしいと言われ、編集委員会一同、身にあまる光栄と感じ入りました。皆様に、ご愛読いただいておりますことに、うれしい思いでいっぱいになりました。今後とも、引き続きよろしくお願い申し上げます。

昨年 12 月に、以前（1983～86 年）留学していたドイツのフライブルグ大学医学部の研究室の同僚、トーマスにクリスマスの Greeting のメールを出しました。彼は私と同年齢で、その後、フライブルグ大学の神経薬理学の教授を務めていました。てっきり定年で退いたものと思っておりましたが、驚いたことに、まだ研究を続けており、彼からの返信のメールには、最近発表した英文論文が 2 編、添付されておりました。彼は車好きで、私が、留学を終えて、日本に帰った後、トーマスはポルシェの新車を買ったことを手紙で知らせてきました。写真も入っており、1 千万円は、かかったようです。「ムムム…負けてなるものか」と、私は当時購入した箱型のマッキントッシュのコンピュータとプリンターを写真にとり、「どうだ。最新のマックだぞ。100 万円はかかったぞ」、とばかり、返事の手紙に同封しました。

さて、今回のお返しには、何を送ろうか？

「ほすびたる」の編集後記を送ってみるかな…。

編集委員会一同、今年も皆様のご期待に添えるような「ほすびたる」の発刊を目指して、努力してまいります。みなさまのご愛読とご支援をよろしく願いいたします。

（岡嶋泰一郎 記）

## ほすびたる

第 764 号

令和 5 年 1 月 20 日発行

発行 © (公社)福岡県病院協会

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 2 丁目 9 番 30 号  
福岡県メディカルセンタービル 2F

TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313

E-mail fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp

URL <http://www.f-kenbyou.jp>

編集 集 発行人 © (公社)福岡県病院協会

制作 © (株)梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代 3-2-1  
麻生ハウス 3F

TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095

E-mail : [mail@azusashoin.com](mailto:mail@azusashoin.com)

編集主幹…中村 雅史

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…一宮 仁

編集委員…平 祐二・岩永 知秋

壁村 哲平・伊東 裕幸

横倉 義典・田邊 郁子

## 令和4年度第1回経営管理研究会のご案内

- 開催日 令和5年2月8日（水）13：00～16：30
- 場所 九州大学医学部百年講堂1F 大ホール（福岡市東区馬出3丁目1-1）
- 対象者 病院長、事務長・看護部長、医事課長、その他職員等
- 定員 500名（内100名WEB受講、先着順に受付）
- 参加料 会員病院 1人につき 3,500円（資料代500円含む）  
会員外病院 1人につき 5,000円（資料代500円含む）
- 参加申込及び質問締切日 令和5年1月20日（金）
- 第一部 「我が国の医療政策の動向について（オンライン）」  
内閣府大臣政務官 参議院議員 自見はなこ 先生
- 第二部 「2024年トリプル改定、第8次医療計画、  
医療のDXを含めて、今後の医療の方向性について」  
社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 理事長 神野 正博 先生

## 第122回医療事務研究会のご案内

- 開催日 令和5年2月15日（水）13：00～15：00
- 場所 九州大学医学部百年講堂1F 大ホール（福岡市東区馬出3丁目1-1）
- 定員 300名（申し込み先着順に受け付け、定員になり次第締め切ります）
- 参加料 会員病院 1人につき 3,500円（資料代含む）  
会員外病院 1人につき 5,000円（資料代含む）
- 参加申込締切日 令和5年1月31日（火）
- テーマ 「医療事務のデジタル化!!」  
～RPA活用の人材不足・残業業務削減の対応～
- I 「日本一わかりやすいRPA本質!! ～デジタルレイバーの可能性～」  
RPAテクノロジーズ(株) 代表取締役社長 大角 暢之 氏
- II 「診療情報業務へのRPA導入効果と課題」  
福岡赤十字病院 企画推進課 平井 里衣 氏
- III 「病院情報システムにおける事務系業務へのRPAの取り組み」  
九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター 坂井清太郎 氏